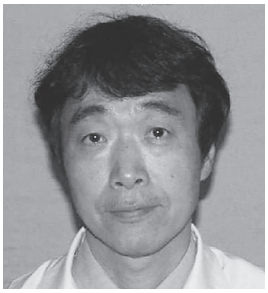
耳鼻咽喉科・頭頸部外科



診療科長
(耳鼻咽喉科)
辻　純

専門医資格等
　日本耳鼻咽喉科専門医
　京都大学医学博士
　京都大学医学部臨床教授
　日本耳鼻咽喉科学会代議員
専門分野
　耳科学・耳鼻咽喉科
得意疾患
　中耳疾患、めまい疾患

診療科長
(頭頸部外科)
安里　亮

専門医資格等
　日本耳鼻咽喉科専門医
　頭頸部がん専門医・指導医
　内分泌外科専門医
　気管食道科専門医
　日本がん治療認定医
　日本頭頸部癌学会代議員
　日本頭蓋底外科学会評議員
　日本気管食道科学会評議員
専門分野
　頭頸部外科・甲状腺外科
得意疾患
　頭頸部がん、甲状腺手術

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医　　員 (耳鼻咽喉科)	嘉田　真平	日本耳鼻咽喉科学会専門医 頭頸部がん専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科一般	頭頸部癌 甲状腺癌 音声疾患
医　　員 (耳鼻咽喉科)	森田　真美	日本耳鼻咽喉科学会専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科一般
医　　員 (耳鼻咽喉科)	辻　　拓也	日本耳鼻咽喉科学会専門医	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科一般
医　　員 (頭頸部外科)	片岡　通子		耳鼻咽喉科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科一般
医　　員 (耳鼻咽喉科)	伊藤　真裕子		耳鼻咽喉科一般	耳鼻咽喉科一般

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本耳鼻咽喉科学会専門医制度専門医研修施設 内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医研修施設 日本気管食道科専門医認定施設

1. 伝音再建を中心とした中耳疾患手術
2. 頭頸部進行癌に対する拡大手術を中心とした集学的治療による治癒率向上
3. 頭頸部癌による低侵襲手術の開発によるQOL向上
4. QOLを考慮した甲状腺手術
5. 頭頸部・甲状腺外科執刀医養成のシステム
6. スタッフ全員による入院患者の診断・治療
7. 京都大学側頭骨セミナーへ講師として参加
8. めまいの診断と治療

□ 主な対象疾患

・真珠腫性中耳炎・慢性中耳炎
・めまい症
・頭頸部癌（口腔癌：舌癌・歯肉癌・頬粘膜癌・口腔底癌、咽頭癌、喉頭癌、鼻・副鼻腔癌：上顎洞癌・篩骨同癌、耳下腺癌・顎下腺癌など）
・甲状腺癌・甲状腺良性腫瘍・副甲状腺腫瘍・バセドウ病（手術）
・頭頸部良性腫瘍・頭蓋底進展腫瘍・咽頭表在癌

□ 診療（業務）内容

耳鼻咽喉科と頭頸部外科はともに外来・病棟・手術を行っている（手術数などは両科合同）。真珠腫・中耳炎・めまい・顔面神経麻痺など耳科全域を行っている。一般的な頭頸部癌・甲状腺癌の治療はもとより進行癌の治療も積極的に行い根治治療を目指しており、再建を要する頭頸部進行癌や縦隔浸潤する甲状腺癌・頭蓋底に進展する頭頸部腫瘍は関西一円はもとより関東・中国地方などからも治療をうけにこられている。また、低侵襲手術としての口腔癌に対するPGAシート被覆法を開発し、学会などで積極的に発表し標準治療としての普及を図っている。さらに経口的な咽頭がんの切除により、QOLを保った治療も積極的に行っており、これらも関西以外からも手術を希望されて当科に紹介される場合が多い。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
22.6名	538名	15.3日

外来患者数

1日平均患者数
55.2名

主な手術・検査の件数など

耳手術	鼻副鼻腔手術	甲状腺・副甲状腺手術	頭頸部腫瘍手術
26件	37件	106件	149件

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	伊藤 真裕子, 辻拓也, 森田真美, 嘉田真平, 田浦晶子, 安里亮, 辻純	Hobnail様の細胞を有する甲状腺乳頭癌の2例	第51回日本甲状腺外科学会学術集会	神奈川（横浜）	2018.10.25	2018.10.25-2018.10.26
国内学会	安里　亮, 森田真美, 伊藤真裕子, 伊藤通子, 辻　拓也, 嘉田真平, 辻　純	動脈塞栓後に摘出した頬部動静脈瘻例	第29 回日本頭頸部外科学会	仙台	2019.1.24	2019.1.24-25
国内学会	森田真美、安里亮、田浦晶子、片岡通子、嘉田真平、宮崎眞和、辻純.	喉頭蓋顆粒細胞腫の1 例	第119回日本耳鼻咽喉科学会	横浜	2018.6.1	2018.5.30-6.2
国内学会	安里　亮	口腔内における生体吸収性材料の使用	第48回日本創傷治癒学会	東京	2018.11.29	2018.11.29-30

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮	Survival in patients with parotid gland carcinoma - Results of a multi-center study.	Am J Otolaryngol	39	1	65-70			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮	Survival in patients with submandibular gland carcinoma — Results of a multi-institutional retrospective study	Auris Nasus Larynx	45	5	1066-1072			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮	Unknown primary squamous cell carcinoma of the head and neck: retrospective analysis of 80 cases	Acta Otolaryngol	138	6	590-596			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里亮, 辻純, 宮崎眞和、嘉田真平、片岡通子	Sensory preservation in neck dissection: outcomes of a sub-sternocleidomastoid approach.	Acta Otolaryngol	138	8	763-767			2018
和文原著論文（筆頭著者以外）	安里亮	耳下腺癌と顎下腺癌の比較：多施設共同による後方視的研究	頭頸部癌	44	1	39-45			2018
和文原著論文（筆頭著者以外）	安里 亮, 辻 純, 宮﨑 眞和, 田浦 晶子, 嘉田 真平, 片岡 通子.	永久気管孔狭窄症例の臨床的検討	日気管食道会報	69	3	197-203			2018
英文論文（筆頭著者以外）	安里 亮	Adenoid cystic carcinoma of the head and neck: a retrospective multicenter study	Acta Otolaryngol	138	1	73-79			2018